

奥沢小学校・東玉川小学校「福祉体験学習」

10月12日(土)1~3時間目に奥沢小学校4年生、10月29日(水)5・6時間目に東玉川小学校4年生を対象に福祉体験学習を行いました。車椅子利用者や目の不自由な方など身体に障がいのある人へのサポートや心配りなどについて学んでもらいました。児童の皆さんは福祉学習に向けて事前に授業のなかで学習するなど、準備をして今回の福祉学習に臨んでくれていました。学習後の感想では、地域で困っている人を見たらどのように行動したら良いかなど、活発に意見を述べてくれました。身体の不自由な人への思いやりをつかんでくれたと感じられる福祉体験学習でした。

車椅子体験

白杖説明

点字体験



推進員座学研修『身近な防災について(在宅避難の備え)』

講師・奥沢まちづくりセンター まちづくり・防災担当係長 和田直己 氏

近年、日本は新たな地震の活動期を迎えた！と云われています。今後30~50年程度の間にはM7からM8級の大きな地震が数回発生する可能性が予測されており、既に1995年(29年前)には阪神淡路大震災が、2011年(13年前)には東日本大震災が、そして2016年(8年前)には熊本大震災が発生するなど、全国的に予測された大地震の多くは発生しており、未発生の地震は首都直下、東海、東南海、南海地震のみとなっています。また近年、異常気象により夏季の全国的な猛暑の発生、日本列島直撃の台風の増加、ゲリラ豪雨と呼ばれる集中豪雨の多発など風水害にも備えることが大事になって来ています。

そこで、今年度の推進員研修のテーマを“防災”とし、今般の座学研修は、和田直己氏よりお話を伺いました。

- ・今年に入っても震度5強以上の地震が続いていること
- ・首都直下地震の世田谷区の状況予測について
- ・奥沢地区の避難所の状況について
- ・災害に備える準備について(具体的な個別の事項について)
- ・せたがや防災ギフトについて。

等々、防災に関して多岐に亘る説明に、推進員一同改めて災害への備えについての志をもって対応せねばならないと思いました。後期実施予定のバス研修も、防災関係の内容を考えております。



奥沢のおまつりイベント PR 活動

奥沢地区祭礼が9月14日(土)・15日(日)に催され、神輿や露店が出て多くの人出で町中が賑わっていました。奥沢地区社協では、今年は祭礼の両日に奥沢駅前噴水広場にテントを設置してPR活動とかき氷販売を行いました。

PR活動では、社会福祉協議会の事業活動紹介パンフレットなどをお配りしました。また、能登半島地震への義援金として募金活動を行い、25,205円のご寄付を頂きました。ご協力いただきました皆様に感謝いたします。

かき氷販売では、両日とも今年の夏を象徴するような暑さとなったことから、ふわふわのかき氷を美味しく食べている親子連れなどで、駅前噴水広場はたいへん賑わっていました。かき氷の売上総数は**820杯**あまりとなり、多くの方に召し上がっていただくことができました。なお売上金額は奥沢地区社協の今後の事業を実施する財源として活用させていただきます。



なかよし子どもスペース



いつもは高齢者が集う東玉川地区会館内の「ふれあいルーム」ですが、月1回第4木曜日の午後は、子ども達が自由に過ごせる遊び場になります。

スタートから3年目、参加人数は多かったですり少なかったですりですが、毎回来てくれる常連さんもできました。小学生が下校して来るまでの間、幼稚園帰りの子ども達が、パパ・ママと一緒に遊びに来てくれることもあります。工作をしたり、絵をかいたり、ボードゲームをしたり…2Fでは卓球やダーツ、けん玉もできます。

工作では、子ども達のアイデア溢れる作品がたくさんでき上がり、時にはスタッフが作り方を教えてもらうことも！これからも子ども達が楽しく過ごせる居場所であり続けたいと思います。

